

部長挨拶

慶応義塾体育会
バドミントン部々長 高宮利行



わたしたちの世代になると、こんなに早く一年が経過するのかと実感する 때가あります。この早慶バドミントン定期戦のプログラムに何か書くようにとの依頼があると、「えっ、あれからもう一年になるのか」と実感するのです。

少し前にイギリスの女王がクリスマス演説で「今年のもっとも惨めな年だった」と語ったことがありました。我々にとっては本年がそれに当たるのではないのでしょうか。阪神大震災、オウムのサリン事件とその後遺症、ハイジャックなど、まだ半年しかたたないのに今年の重大ニュースが出揃った感があります。

気分が悪くなるような出来事が続く中で、ドジャーズに移籍した野茂投手の活躍には、本当に拍手喝采を送りたくくなります。言葉もろくに通じない外国で、腕一本で大活躍する彼の姿は感動的です。「やればできる」のお手本ではありませんか。

さあ、バドミントンをやる選手諸君も「やればできる」のです。この早慶戦では、夏の練習の成果をぜひ形にして見せてくださることを期待しております。8の力を10に、10の力を12にと、日ごろ切磋琢磨した結果を思い切り見せてください。

なお、この欄をお借りして、本年度の定期戦開催のためにご尽力くださいました方々に、厚く御礼申し上げます。

会長挨拶

三田バドミントンクラブ
会長 岡本圭



月日がたつのは早いもので、伝統ある慶早定期戦も第43回を迎える事になりました。

本年は阪神大震災にはじまり、地下鉄サリン事件、全日空ハイジャック事件、円高、就職難等……、社会人にとってはいやな世相ではありますが、一方学生諸君はこの暗い世の中を吹き飛ばす様に、慶早定期戦や秋のリーグ戦の勝利をめざして猛暑の中の夏合宿での成果を期待しております。

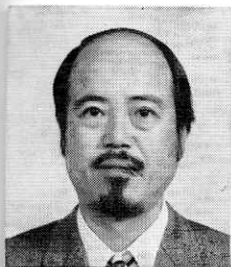
今春のリーグ戦では、女子の方は頑張って3部へ昇格しましたが、男子は残念ながら今一步のところで入替戦に破れ3部残留という事が、ここ数年続いておりますが、この度の定期戦を機に一段と奮起して今迄のマンネリを打破し2部昇格への足掛りにと期待しております。過去の両校の成績には優劣がありますが、それにとらわれず両校共全力でぶつかり合い好ゲームを望んでおります。

末筆ながら本日の準備をなさる両校、OB部の皆様朝から晩迄応援される皆様、特に当番校の早稲田の皆様は厚く御礼申し上げます。

部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部长

加藤 勇



私は今年度より、前内山部長の後を継いで部長となった新米部長です。内山先生は大変熱心にバドミントン部を指導した名部長と聞いており、私も部のために頑張らなければいけないと思っています。バドミントンの早慶戦は昨年の第42回に始めて観戦しました。それ以来、早稲田大学の体育局の部長会や色々の会議に出席し、部長とは結構忙しいものだと感じています。理工学部において、体育局系の会議には出席したことがないので、関先生に色々教えて頂きながら会議に参加しています。しかしながら、理工学部とは異なる分野での教育活動、そして法文系の各部長と知り合い、又話などを聞いていますと、自分の視野も広がり、楽しさもあります。部の数は全部で42あり、一覧表には結成の古い年代順に並んでおり、1番始めが野球部であり、バドミントン部は32番目でした。おもしろいのは各部の部員数の書き方ですが、例えばバドミントン部でしたら、計19名、女子4名というように表に書かれています。男子15名、女子4名と書かないのは昔からの慣例なのでしょうが、女子は付け足しという古風な感じを受けます。如何なものでしょうか。

さて、今井監督の素晴らしい指導のもとに関東学生バドミントン春季リーグ戦では、男子は惜しくも優勝を逃したものの1部で2位、女子は3部で優勝、入れ替え戦の結果2部昇格と好成績を残しています。私は基本的に人間の能力は皆同じと信じています。学問でもスポーツでも、他の人より向上できるのは努力であり、鍛練の結果です。簡単に言えば他の人より多くの時間をかけるということです（ただだらと時間を費やすということではない）。良い監督や良いコーチが付いていても、何と言っても戦うのは選手です。秋季リーグ戦、インカレに向けてさらなる努力を望みます。

早稲田大学の教員にとっても、学生にとっても、最も身近な慶応大学です。その逆も真なりと信じています。その早慶戦で、両選手の存分なる試合により、日頃の精進の結果を見せてもらいたいと思います。

会長挨拶

稲門バドミントン・クラブ

会長 菊地利明



本年は、年初より色々大きな出来事が連続して起きた年で、現在も不安定な政情が続いている。

毎年申し上げているが、あっという間に1年が過ぎ、今年も又、秋のシーズンの開幕を告げる43回目の定期戦がやって来た。

この春のリーグ戦では、我が部は、女子の3部優勝と2部昇格、男子も残念ながら優勝は逃したものの一部2位と、まあまあ成績であった。

さて、現在のわが国バドミントンの国際的なレベルは他のスポーツに比べ全く惨めなもので、これからは、あまり大きな期待はできないようだ。

このような中、私も地区のバドミントン協会や連盟に関係しているが、社会スポーツとしての底辺の普及拡大は徐々に進み、その面での手応えはある。この時期社会的環境は良くないが、これらの下支えを得て、技術向上に力を付けてゆくには、どうしても高校・大学の選手諸君に期待するより以外には考えられない。

そこで、やがて半世紀を迎えようとしているこの定期戦などが中心となり、非常に難しい環境下ではあるが、少し長いスパンでじっくりと選手養成を考えて頂きたい。

その様な意味も含めてこの伝統ある定期戦を、今後も、現役・OB・OG協力し合って、更に実りあるものにする様頑張ろうではないか。

選手諸君の大いなる健闘を期待する。

【監督挨拶】

慶応義塾体育会（昭和56年卒）

バドミントン部監督 鎌田喜士久

第43回慶早バドミントン定期戦開催に際し、心よりお喜び申し上げます。

今年も両校の定期戦を開催する季節となり、両校部関係者、先輩諸兄の暖かいご指導、ご支援のもと今年も慶應、早稲田両校の定期戦が無事開催できることを大変光栄に感じると共に、この1年間の成果を集大成する時がやって来ました。

塾バドミントン部は、ここ数年低迷を続け、今春のリーグ戦においても、3部優勝を果たしたが、入れ替え戦においてあと一步のところまで来ましたが残念ながら2部昇格にはいたりませんでした。その悔しさと無念さを糧に、この夏は合宿及び練習に全力を傾け、早稲田の選手諸君との対戦に恥じないよう一生懸命頑張ってきました。今年も実力差があるのはいなめませんが、勝負は水物という言葉もあるように、慶應の底力を出し、全力で早稲田に向かっていきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

この慶早バドミントン定期戦は、独特の雰囲気の中、両校の名誉をかけて多くの名勝負が行われてきました。そしてその一戦一戦で培われてきた伝統が、両校の厚い友情とスポーツマンシップを育て上げてきたと思います。定期戦を通じ、両部の選手はもちろん、関係諸兄の方々もこの日一日が楽しく思い出深い日となることを望みます。

末筆ではございますが、早稲田大学バドミントン部の今後のご健闘とご幸運をお祈り申し上げます。

KEIO

祝 早慶定期戦

内科・神経科・精神科

医療法人 社 団 三 恵 会

西ヶ原病院

北区西ヶ原2-46-9 電話 03 (3917) 6 5 6 1

【監督挨拶】

早稲田大学（昭和47年社卒）

バドミントン部監督 今井茂満

今年も早慶両校の現役、OBが一同に会し、競い合う早慶戦がやってきました。

今年のスタートとしての春季リーグ戦において、男子1部2位、女子3部優勝2部昇格という、まずまずの成績を上げる事が出来ましたのもOB諸氏のご指導と激励が有ればこそと感謝しております。ここに改めて、御礼申し上げます。

私も今年で監督5年目となりますが、何もしないで4年が過ぎたように思います。そんな私に勝ち負けよりもっと大切な事がある事を教えてくれるのが早慶戦で有ります。そして日頃の鍛練、努力の大切さ、チーム一丸となる事の大切さ、又それを土台にして、自分の実力を充分発揮する為には、集中力を養わなければいけない事など……。早慶戦はいつも戦う上での重要な事柄を再認識させてくれます。又少しの気を抜く事もゆるしてくれません。今年もかすかすの名勝負が展開されると思いますが部員諸君には、この独特の雰囲気の中かで喜んだり悲しんだりしながら、力いっぱい思い切りプレイしてもらいたい。（野村・荻原・野津・熊谷・中島・小山にはチャンスをかかしてほしい。）そして、秋季リーグ戦、インカレに元気で臨んでもらいたい。

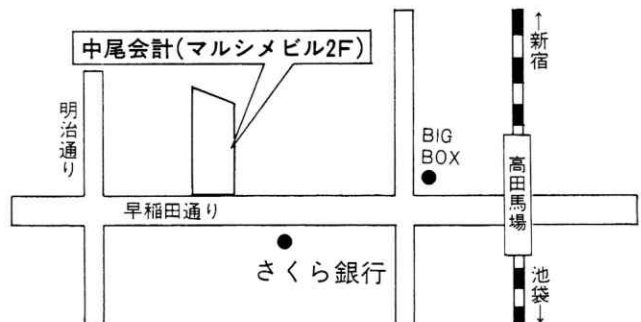
慶応の現役、OB諸氏と共に好ゲームを展開し、より友好が深まることを望みます。

WASEDA

堅実な経営指導を求めている方
税金、就職、住居等悩んでいる方 → ノウハウを教えます。

中尾会計 事務所

東京都新宿区高田馬場
1-17-18 tel 03-3207-3382



回 慶早戦に寄せて

慶応義塾大学経済学部 昭和34年卒 米谷 斉

現役の慶早戦には、とんとご無沙汰の私たち同期も、年1回、慶早戦前夜に開かれる仲間うちの会には不思議と顔を出す。会の名前を「10回クラブ」という。その命名は、2年の夏の合宿で私たち同期が集団で夜の門限を破り、その罰として翌日真夏の校庭を全員10回走らされたことに由来する。

卒業後数年を経ずして始まったこの同期会は、やがて慶早戦前夜祭として定着し、何時の頃からか同じ釜の飯を食べた先輩、後輩を迎え入れ、現在の姿になった。会場は、これまた学生時代から永い付き合いのママのバー「アンカー」である。当夜は、ママの好意により我々仲間だけの貸切りとなる。

勝手知ったる会場にはちほち仲間が集まってくる。早くも、あちこちで賑やかな談笑が始まる。いい年をした紳士淑女の面々もこの時だけは学生時代にタイムスリップし、当時の思い出話に心地よく酔い痴れる。そして、最後は、明日の慶早戦での後輩の健闘を祈り、「若き血」の斉唱で終わる。毎年、飽きもせずこのパターンが繰り返される。

皆まだまだ若い気であるが、時は容赦なく過ぎ去り、その影を落とす。かつて、翌日のOB戦出場を気にしながら飲んでいたモサ達も、いつしか後輩にその座を譲り、じっくり腰を据えるようになった。二次会もめっきり減った。また、いつまでも私たちの「監督さん」であった吹野大先輩も、先年卒然として冥土へ旅立たれた。それでも、元気な仲間がいる限りこの会はいつまでも続く。

かくて、今年もまた我等が遥かな青春の思いを掻き立てる早慶戦前夜祭が巡って来る。

慶応義塾大学経済学部 昭和60年卒 米倉 緑 (旧姓 酒井)

第43回早慶バドミントン定期戦、本当におめでとうございます。今年も無事今日の日を迎えることができ、今大会の開催にご尽力いただいた皆様にお礼申し上げます。

両校とも歴代女子部員が少ない中で、私は同期の女子が3人という恵まれた環境で4年間のクラブ生活を送ることができました。高校のクラブと違い、大学ではリーグ戦や早慶戦などで先輩たちの残された数々の功績・伝統を守ることの重みを感じたのを思い出します。練習やトレーニングはほとんど男子と一緒にやらせていただいたお陰もあって、体力も向上し、多くの技術を学ぶことができました。しかし「勝つ」ことはやはり自分で身につけるもの。これには私自身かなり時間がかかったのを覚えています。リーグ戦で3部から昇格してくる大学の勢いを見て「勝つ」プレーをしたいと切に思ったものです。

歴史と伝統を実感させる早慶戦にあたり原稿を書く機会をいただいて、久し振りに現役時代のことを懐かしく思い出しました。選手紹介の場面、コートに立った時、他の試合とはどこか違った緊張感を体中で感じたことを覚えています。気持ちを奮い立たせるために当時流行っていた“Eye of the Tiger”を繰り返し聞いたりもしました。

本日コートに立つ現役の皆さんはどんな思いで試合に望んでいるのでしょうか。持てる力を存分に発揮され、素晴らしいプレーを見せてくれることを、そして、今年こそ我が校が一矢を報いてくれることを期待しつつ、今大会のご成功をお祈りいたします。

早慶戦に寄せて回

早稲田大学教育学部体育学専修 平成2年卒 村井清憲

第43回早慶バドミントン定期戦、開催おめでとうございます。本年も両校の熱い戦いを期待しております。

「今年もこの季節か」と思いながら。早慶戦に出場した自分の1つ1つの試合を振り返ると、今もあの緊張感がよみがえってきます。喜びの場面や恐怖を味わう場面を思い出すだけで身体が緊張する感覚があります。緊張を誘うのは、自分がマッチポイントを握りサーブを打つ瞬間や慶応諸氏が怖い顔でサービスレシーブをする瞬間です。不思議とラリーの内容や点数の流れを思い出そうと思っても、その試合全体の流れより、部分部分の自分が味わった感情しか思い出せません。物事は忘れるものであります。断片的な記憶となるのは、喜びや恐怖を味わった場面ほど強烈な印象をもって残っているからでしょう。

当時の同期は、早稲田が、佐藤、中村、石川、そして自分、慶応が、加藤、清水、土屋、高田、井上、喜多がいました。

「竜馬がゆく」を読むと、阪本竜馬個人の魅力が亀山社中を生み、その社中から輩出された陸奥陽之助などの人物が維新後の原動力となっています。何かの目的を達成するには、魅力ある人物を中心とし実行されていくものです。

早稲田には佐藤が、慶応には加藤が居たから、4年間の早慶戦が勝ち負けを抜きにして、団結したチームとして、毎年毎年の勝負が熱く楽しいものになったと思います。思い出は、断片的になっていってもその熱い思いを忘れることはありません。

あれから5年が経過し、今年は誰と誰を中心に早慶戦が繰り上げられるのでしょうか。早慶両校の現役諸君の熱い戦いを楽しみにしております。

早稲田大学商学部 平成4年卒 宮澤素子

今年もまた早慶バドミントン定期戦が無事開催されることを嬉しく思うとともに、両校熱戦の繰り上げられることを心より期待しております。

大学を卒業して4年。意外だったことは、今になっても早慶戦の季節になると、心躍ること。

おかしい。私は、そんなにこよなく部活を愛していたわけではないし、むしろ苦しい思い出ばかりで、引退した時は、しばらくは記念会堂も見たくない、と思ったはず。

でも、それと同じくらい、あの頃がたまらなく懐かしい。早稲田のすべてを誇りに思い、文字通り“早稲田大学”を背中にしょって、毎日練習に明け暮れていた頃の、ひたむきな自分がとても懐かしい。仕事に追われ、バドミントンからは遠ざかりつつある今でも、やはりあの頃の思いというのは、心のどこかに、ずっと持ち続けているものなのかもしれない。

そなん仲間が集まって、心を分かちあい、胸を張って—あたかも自分達が主役のように—都の西北を唄える日。それが早慶戦。

今年もまた、古き良き時代を忘れられない大勢のOB・OG達が、ラケットを抱え、いそいそと記念会堂にやってくるに違いない。

現役の皆さん、OB・OGとは、このように自分勝手なものです。自分達は、はなはだ楽しんでおきながら、現役には、勝て、勝てとプレッシャーをかけたりします。

と言いつつ、実は私もそのわがままなOGの1人。絶対、負けちゃダメよ。

石本主将率いる強豪男子部、そして女子部の一戸、櫻井、木薮、吉田。今年もまた胸のすくような勝利を私達にプレゼントして下さい。(女子部コーチに、肝臓がぶれるくらい、美酒を飲んで頂きましょう!) 頑張れ、早稲田。

慶応義塾大学法学部法律学科 平成2年卒 立田 祥 章

今年も伝統ある慶早バドミントン定期戦が無事に開催され、誠に喜ばしく存じます。

昨年定期戦からはや一年がすぎ、月日のながれの早さを実感している今日この頃であります。慶早戦といえば、私は運よく一年生から出場でき、計1勝7敗といい思い出はありません。それでもあの慶早戦の独特の雰囲気は忘れることはできません。正直バドミントンする雰囲気ではないなと感じました。しかしあの四回の慶早戦は一生私の心の中に残っています。中でも早稲田の本田君とは五回も対戦させていただき、誠に光栄に思っています。普段の練習では経験できない学生トップクラスの打球をうけられて、ワクワクさせられました。

その反面、四年生の時の主将戦はどうしても勝利を収めたかったのですが、負けてしまい、いまでも夢にでてくる程、大変悔しい思いをしました。

また、慶早戦はリーグ戦とならび、部の一体感を体験できる絶好のチャンスでもあり、その一体感や応援で勝ってきた先輩方も大勢いらっしゃることでしょう。そういう意味でも、選手だけでなく、出場できない控えの者も一体となって慶早戦を満喫してほしいものです。それに加え、運営をまかされているマネージャーやOBの方の存在も忘れることなく肝に銘じて下さい。

最後に、現役諸君、今年こそは早稲田の連覇にストップをかけ、春成しえなかった2部復帰に向けていい足がかりにしてくれ。

両校のみなさん、慶早戦に参加できることを誇りに思い、精一杯、悔いなく頑張ってください。ご健闘をお祈り申し上げます。

祝 早慶バドミントン定期戦

記念品・催物・販売促進等の機会に、オリジナル デザインの
スカーフ・ハンカチーフ・エプロンなどを企画なさいませんか！

株式会社 おぎ かわら 荻原 〒231 横浜市中区太田町1-9 TEL.(045)651-1406(代)

OGIWARA & CO.,LTD.

早稲田の学生と、慶応の塾生とが、1年に1度会するこの早慶バドミントン定期戦が、今年もまた無事に例年通り開催されることを嬉しく思うとともに、名勝負が展開されることを非常に期待しております。

この定期戦は、後に続く秋期リーグ戦、全日本インカレへと続く第一歩のものとなるので、後輩諸君は決して手を緩めることなく、懸命に頑張り、そしてはげみとして下さい。

早慶戦といってまず最初に思い出されるのは、リーグ戦やインカレとは違ったその試合の雰囲気、応援部の応援による盛り上がりなどでありましょう。そんな中においても、決して臆することなく、早稲田のバドミントンと、そしてその実力を遺憾なく発揮し、横綱相撲で、快勝して勝利の美酒を存分に味わってほしいと思います。

最後に、早慶両校のみなさんへ、今大会が素晴らしい大会となるよう御健闘を心よりお祈り申し上げます。

Boys and Girls , be ambitious !



マルチベンダ環境における実践的なパソコン活用方法をアプローチ
システムコンサルティング・システム開発・データ入力

 **エコ株式会社**

代表取締役 細村 悦子 (早大60年卒)

〒135 東京都江東区住吉1-2-26-403

TEL: 03 (3635) 8765 FAX: 03 (3635) 8706

慶応義塾体育会バドミントン部主将 清水 聖

今年も、慶早バドミントン定期戦を迎えることになりました。常に日本学生バドミントン界をリードすべく、数々の名勝負と幾多の名選手を輩出してきた伝統の一戦も、迎えて43回目となりました。この晴れの舞台に、慶応義塾の名を背負い、参加できることに誇りを感じると共に、偉大な先人たちの作り上げてきた歴史を思うと、身の引き締まる思いです。

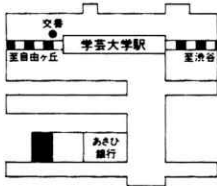

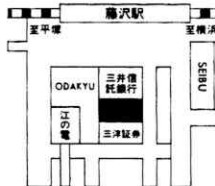
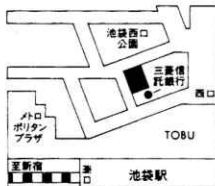
昨年熱戦から一年、我々は打倒早稲田の思いを胸に、鎌田監督の下、チーム一丸となってレベルアップを図ってまいりました。試合に試合を重ねた春合宿、苦汁をなめたリーグ戦、暑さも忘れてシャトルを追い続けた夏合宿。7人の新戦力も逞しく育ち、まさに打倒早稲田の時は来たという思いです。

我々の日々の鍛錬の成果を、この歴史ある慶早定期戦でいかんなく発揮し、勝利を収めたいと思っています。そして、この経験を、塾バドミントン部の発展の糧とし、復興の礎となることを期待しています。

最後に、早稲田の諸君、お互い正々堂々と戦い、栄光の歴史に、我々もまた新たな感動を刻みこもうではないか。

今年は、陸の王者が復活します。

バドミントンプロショップ ウエンブレ

<p>学芸大学 03-3716-2626 目黒区鷹番3-3-4</p> 	<p>渋谷店 03-3409-6622 渋谷区渋谷1-25-6 第二石栄ビル4F</p> 	<p>藤沢店 0466-26-7272 藤沢市南藤沢21-6 サンプラザ藤沢ビル7F</p> 	<p>池袋店 03-5952-7070 豊島区西池袋1-14-3 INビル3F</p> 
--	---	---	---

早稲田大学バドミントン部主将 石本明男

今年も、早慶バドミントン定期戦を迎えることになりました。本年で43回目を数えるこの歴史ある大会に主将として出場できることに最高の名誉を感じるとともに主将として我が部の勝利をもたらさなければならないという責任感を強く感じる次第であります。

さて我が早稲田大学バドミントン部は昨年の秋、インカレ準優勝し、今年の春季リーグ戦では男子一部2位、女子は二部昇格しましたが、主将としてまだ納得のいかない成績だと思っています。しかし、この春リーグの屈辱をバネに二回の夏合宿を行い、秋のシーズンに向けて体力的にも精神的にも技術的にも確実に進歩したと確信しております。

我々部員一同は、早慶戦に照準を合らし、慶応諸君に負けまいよう日々努力をしてきました。歴史あるこの早慶戦において勝利を納め、秋季リーグ、インカレとはずみをつけたいと思います。慶応の諸君も日々練習を積んでいると思う。早稲田に負けまいぐらいのガッツで試合に挑んでほしいと思う。我々も、慶応に負けまいぐらいに頑張ります。

慶応の諸君、お互いに日頃の練習の成果を十分に発揮し、スポーツマンシップにのっとり正々堂々と個々の納得のいくようなゲーム・プレーをし、この伝統ある早慶戦に新たな1ページを我々の手で作り上げようではないか。

最後になりましたが、毎年応援激励して頂く、OB・OGの皆様にも厚く御礼申し上げ第43回早慶バドミントン定期戦が無事に開催されることを願って、主将抱負とかえさせていただきます。

祝 早慶定期戦

各種記念ペナント調製

マーク・ワッペン・旗・腕章

オギワラ

〒160 東京都新宿区西早稲田 1-8-24

早大東門前大隈通り

TEL 03 (3202) 7 8 4 6

FAX 03 (5273) 8 2 8 5

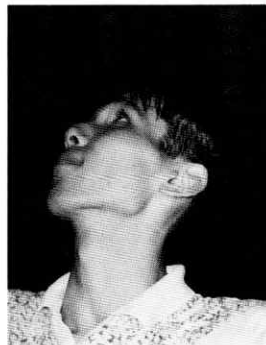
KEIO



主将
清水 聖

法4 桐朋

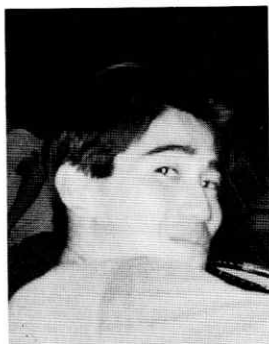
本年度主将としてその強力なリーダーシップを発揮。ゼミをさぼって練習するストイックな男。



副将
鈴木 浩樹

総4 藤枝東

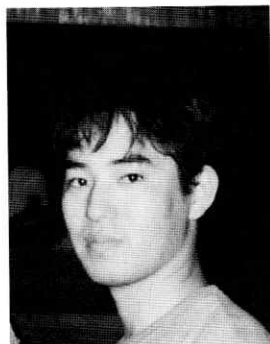
やはり情報処理は得意らしく、部内の噂はすべて握っている。当然あだ名は我が部のナシモト。



主務
山中 喜一郎

総4 新宿

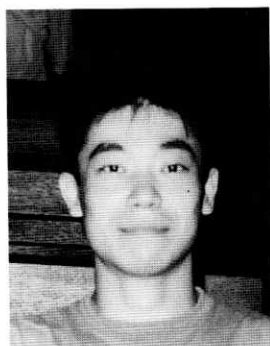
日々OBの方々と水を得た魚の様にしゃべってきた彼は、ますます話術がたくみになりました。



副務
佐々木 仁

文4 桐朋

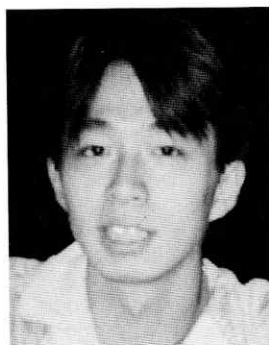
我が部の顔として他の部の飲みへ愛車のBMWでかけつける。現在の住所は日吉柔道場。



三富 彰雄

経4 慶応

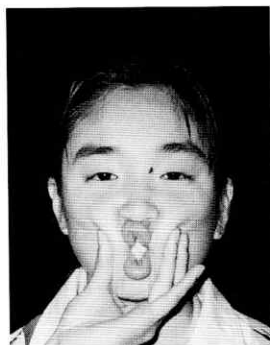
馬とビールと書店を愛し続けてもう4年。オールナイトズの一員として立派にやっています。



小林 雅史

政4 慶応

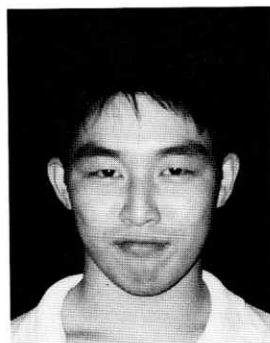
多数のブラック隊員を束ねるブラック隊長。弱点は腰だがよく吉祥寺で平飲みを展開している。



吉野 愛子

文3 淑徳与野

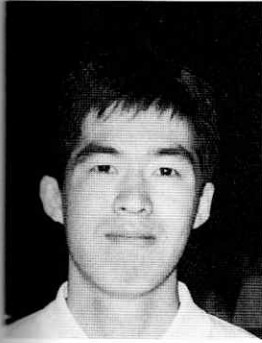
この就職難の時代に二年生にして永久就職を決めてしまった。今年の慶早戦はいい思い出にしたい。



池内 太一

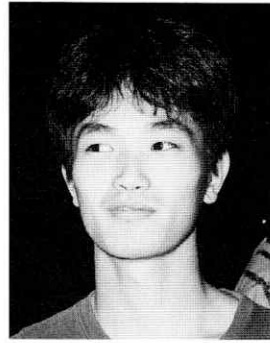
法3 高知学芸

反省ザルからスネオ君に変身した彼は、部内ファミコン課に勤務中。副業は雅のバーテンダー。



副務
西村 浩生

法3 慶応志木
家庭内暴力に毎日おびえ
千葉からかようモジモジ
君。一見インテリに見え
る彼はワインが好き。



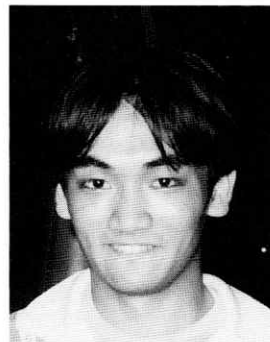
吉野 健太郎

理3 北野
昨年電撃入籍で僕等を驚
かしてくれた彼は、次は
赤ちゃんて驚かすのだろ
うか？



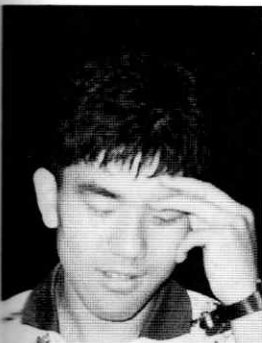
大越 岳

経2 慶応
本塾期待のダブルー。そ
の豪快な飲みっぷりとお
かっぱ頭は今年も健在。



山元 大典

経2 慶応
今年急成長の二年生。バ
ドの腕とは逆に酒は弱く
なる一方。「今年も駅でケ
ンカです。」



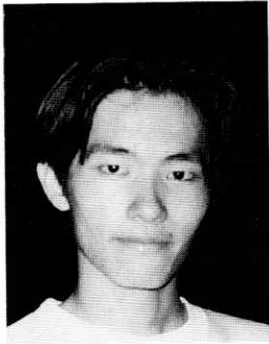
内藤 良介

政2 静岡
昨年最も話題を多く出し
た。ちょっと変わった人。
今でも先輩に「スケベで
〜す」と言っている。



鬼島 孝輔

商2 桐蔭
相変わらず女性が大好きな
彼は、「性獣」と呼ばれ、
今ではみんなのアイドル
です。



石塚 卓志

総2 慶応

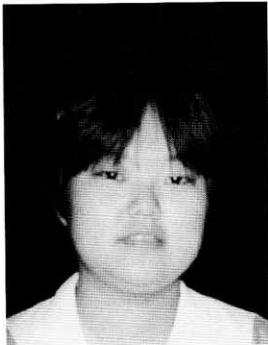
安定感のないフットワークや、無茶なネット前へのつっこみ。彼の試合は見所いっぱい。



川野 武久

総2 慶応

酒でキレル彼は今年、アキレス腱も切ってしまった。次はカールと縁を切るそうです。



竹中 友美

環2 洛水

藤沢の彼女が部員に忘れられないのはその存在感と、体の大きさからだ……と思う。



小方 歩

文1 聖ウルスラ

女流漫画家のような彼女は本塾一年最強で、そのプレーは多くのスキャンダルを生んだ。



山本 順子

文1 慶応女子

本塾期待の一年。そのあまりのおとなしさから、部員の女子校に対する考えを一新させてしまった。



坪 賢

経1 慶応

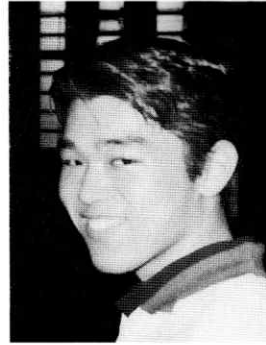
「土下」や「ポク」とかいろいろ言われてきたが、「小沢一郎」が一番はまっている。



石田 昇

経 | 慶応

上級生とため口きいてしま
う、複雑な環境に立っ
たすごい奴。趣味は髪
の毛を固めること。



岩崎 信也

経 | 慶応

信也という名の他にホー
リーネーム「チャーリー」を
授かった彼の毛はますま
す赤い。



岸本 真一

経 | 慶応

本塾期待のお調子者。世
渡り上手だがしょせんは
お調子者。復唱はできま
せん。



三輪 敦

法 | 岐阜

ヘアバンド、アンダーパ
ンツ、そして指輪。彼は
岐阜からいろんなものを
持ちこみました。

体育会のよく来る店

日吉駅前
やきとり

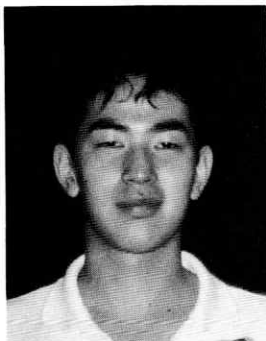
鳥 雅

横浜市港北区日吉本町1丁目1番地9

TEL 045(562)1716



WASEDA



主将
石本 明男

人科4 金沢市立工
腕時計、指輪、アディダ
スのシューズが実は〇〇
ルックだと言う見た目よ
りかわいい主将である。



水沢 直哉

人科4 札幌第一
上京してはや4年、灼熱
の東京砂漠で彼は本当の
愛を見つけられたのであ
ろうか？。



主務
野村 亮

理工4 早大学院

クールでシニカルという言葉がピッタリの彼。鉄面皮の下には熱い思いが隠されているかも？。



灰原 義弘

理工4 千里

人なつっこくない笑顔であなたに迫る。追った後には叫び声がかかるらしい。「アホー！」



西田 涉

人科3 札幌第一

彼を発端に始まったオールワセダ“偽善者論争”。やがて世界の学会に飛び火するだろう。



中島 大介

二文3 武蔵野北

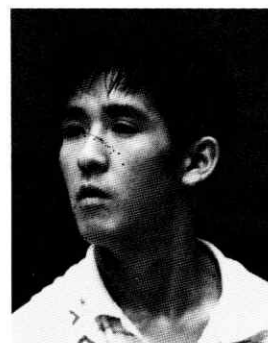
ついにマイクタイソンになると決意した彼の体は素敵に仕上がった。ゲイバーに詳しいのはなぜ？



野津 和也

理工3 松江北

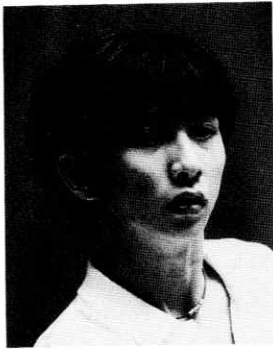
ホームシックにかかった彼は箱根の山を見て「鳥根はなあ………」と説明しだす。山に注意！



熊谷 亮二

二文3 土浦日大

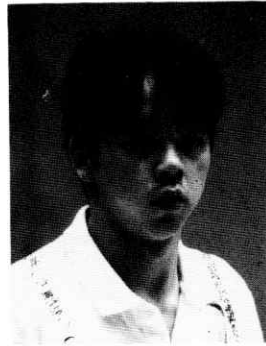
昨年の追いコンでおこった店員をもまき込む異臭事件の主犯は完全にこの人らしい。



吉川 大助

人科2 高松商

欲望という名の十字架を背負った男。地上界に彼の敵はもはや存在しないだろう。



樋渡 順也

教2 常総学院

おシャレ雑誌を熟読している最近の彼。定評あるモサさからの脱却の成功なるか!?



小山 幸一

教2 大宮北

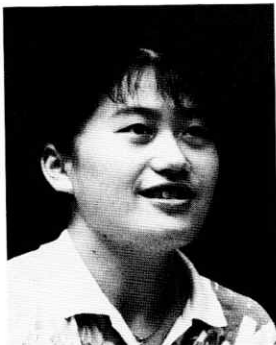
通称「すっぱかし王」の彼。人は彼を「永遠のチャレンジャー」とも呼んでいるらしい。



一戸 和美

社2 常総学院

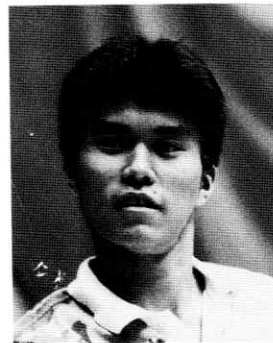
素速いフットワークで動き回る彼女は、超ハイネットでもうビックリ!!



櫻井 宏子

人科2 金沢二水

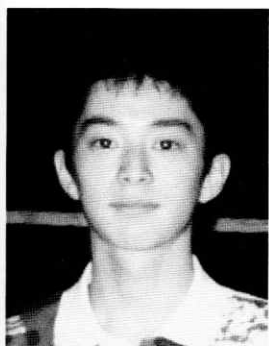
ダブルスでも決めてしまうヘアピンで相手を怒らせる彼女は、敵をどんどん増やしている。



山田 英孝

人科1 上尾

4月に東南アジアから留学した彼は、なぜか日本語をキチッと話す。「そりゃないっすよー」。



下鳥 洋樹

教 | 常総学院

頭はいつもテカテカ、鏡が必需品。彼こそが我が部でも一番のナルシストである。



高岩 直毅

政経 | 岡山朝日

“牛めし三品”で、“赤牛”を喰い干すという彼は、もう立派な“ノッポさん”です。



蒔苗 淳

教 | 関東第一

彼のプレーヤー復帰には期待がかかるが、宴会部長としての活躍は期待以上のものである。



吉田 恵美

文 | 金沢二水

男子顔負けのスマッシュで、シャトルを破壊する彼女は、どうも石川県出身らしい。



木藪 三枝

社会 | 九州国際付属

先輩に愛相笑いする彼女は、試合中でも相手に愛相を振りまいてしまっているらしい。

慶応義塾高等学校メンバー



監督	鎌田喜士久	昭和56年政治卒		
部長	遠藤耕一	慶応義塾高等学校職員		
主将	岡村泰正	出身校	慶応義塾普通部	学年 3年
副将	杉崎慎弥		明大中野八王子中	3年
主務	熊沢祐作		東中	3年
選手	叶内正明		墨田中	3年
	近藤重人		荻窪中	2年
	多田義孝		法政二中	2年
	安川尊之		千葉大付属中	2年
	吉光諭史		霧ヶ丘中	2年

早稲田大学高等学院メンバー



部長	工藤 准司	出身中学	坂戸中	学年	3年
主将	下居 孝之		川越西中		3年
主務	森野 祐直		戸山中		3年
会計	永谷 明史		中山中		3年
部員	名越 健		深川三中		2年
	岡部 耕太郎		調布第六中		2年
	水野 裕哉		市川八中		2年
	君塚 尚也		荻窪中		2年
	遠藤 高也		東村山五中		2年
	野口 有 道				